

領域：	パブリック		
テーマ：	少子高齢化の進む日本の社会保障の現状と課題		
担当者名：	前田正子		
開講時期：	後期：金曜 4・5・6限	募集定員：	25名
内容：	日本には人々の生活を支えるのが医療保険や生活保護など様々な社会保障・福祉制度がある。だが、この社会保障制度も少子化高齢化の進展や財源不足など、多くの課題を抱えつつある。社会保障制度をめぐって最近では、頻繁な制度変容などが実施されるとともに、さまざまな問題が日々起きている。今後の日本における社会保障制度の在り方などについて学ぶ		
到達目標：	現在の日本の様々な社会保障制度や福祉制度やその問題点などを学ぶとともに、それぞれの制度をいかに改善していくべきか、それぞれの処方箋を履修者なりに描く。		
講義方法：	講義・フィールドワーク・グループワーク・発表会・レポート作成。履修者に各課題を与えて、それを発表する。履修者の発表が講義の中心となりますので、発表準備が必要。発表が当たっていない者も、該当部分の教科書を読んでくること。該当部分のレポートを全員が作成し、提出。		
準備学習：	社会保障関係のニュースなどに関心を持つておくこと		
成績評価：	授業での発言・発表のレベル、履修態度・レポートおよび試験。就職活動で休むことは可ですが、発表やレポートの手抜きは許されません。		
欠席基準：	授業実施回数の3分の1（端数は切り捨て）以上を欠席した場合は、単位を修得することができない。 また、学習・参加意欲が低く、履修態度が良くない者は、授業の活性化に資するものがないため不可とする。		
講義構成：	日本の人口問題・年金・医療保険・介護保険・子育て支援など各社会保障の制度について学習。教師の講義と履修者の発表によって学んでいく。社会福祉施設の見学も実施する予定。		
履修条件：	フィールドワークに出かける予定があるので、12時20分開始の3限の授業を履修している人はこのプロジェクトは履修不可		
推奨科目：	前期の「公共経営の実践Ⅰ」の前田の授業を履修しておくのが望ましい		
選考方法：	募集定員を超えた場合は、これまでの成績と履修態度などにより判断。		
備考：			
説明会：	なし		